

共同子育て広場おひさまの事業及び活動

報告とご案内

＊すぎの子共同保育所（保育事業）

0歳児（満1歳）～5歳児までの保育を行っています。平成21年度、園児募集中。
対象年齢：平成15年4月2日生まれから平成20年4月1日生まれ（満1歳から受け付けます）まで

＊園開放事業

第1・第3土曜日の午前に保育所を開放して、音楽リズムや、親子で楽しむことのできる季節の遊びなどを企画しています。
～報告～

平成21年1月17日（土）『親子でおはなしを楽しもう』参加者44名
『おはなしたまご』さんと『劇団おひさまランチ』さんが来てくださり、手あそびや人形劇を楽しみました。合間では親子ペアになり、子どもの顔に優しく触れる顔あそびや、ひざの上ののせてバスごっこをしたり、おんぶで歩いたり…と、親子で簡単に出来るふれあい遊びもあり、お母さんの背中子ども達も大喜び。アンケートには「立体的に物語を聞けるなんて、子どもも楽しそうにいきいきしていました。ふれあえるひとときもよかったです。」との声も寄せられ、親子でゆったり過ごせる時間になりました。

～今後の園開放予定～

4月4日・18日（土）9時～10時『ロールマット・音楽リズムをしよう』参加受付中です！



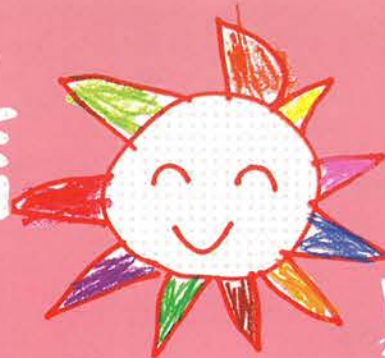
＊おひさま通信発行

会員や卒園児、保護者を結ぶ機関紙です。おひさまの諸事業、すぎの子共同保育所の子どもたちや園開放に参加された子どもたちのようす、行事案内を掲載し発送しています。

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

おひさま通信

〒779-3125
徳島市国府町早瀬字雀ヶ原218番6
Tel/Fax 088-642-5933



VOL. 6
2009年3月15日



～“じぶんで”を大切に～

じぶんでしたいことがたくさん！でも、できないこともたくさん…。いろんな人達との関わりの中で、おもしろい受けとめてもらいながら過ごす子ども達。一番小さいクラス、虹組（0・1歳児）の1年間です。

すぎの子共同保育所では、2008年4月より0歳児保育（満1歳からの受け入れ）を始め、虹組は、1歳0ヶ月の女児と1歳9ヶ月の男児2名でスタートしました。12月に1歳8ヶ月の男児が一人増え、現在は、仲間が3人になりました。入所当初は、排泄や着替えなど、生活のほとんどが大人まかせの状態でした。まずはオムツをはずし、動きやすいパンツで生活しました。保育室から見える景色に興味をひかれた子ども達は、自分で行きたいところに自由に歩いていきます。花をいっては顔をしかめ、石を見つけては、しゃがみこむ。一人が見つけたものにもう一人が近づいていき、一緒に目を合わせニコッと笑いあう。自分の見つけた“嬉しい”が、伝わる瞬間でした。

保育所に慣れてきた頃から、生活に簡単な見通しがつくようになってきました。「そろそろリズムしようかな…」と担任がつぶやくと、さっと遊戯室まで行きます。「お散歩行くで？」と言うと、トコトコ走って帽子と靴を取りに行き、戸の前で「あーけーてー」と待っています。生活の中で大好きな事から、だんだん自分でできるようになってきました。

保育所での一番のお楽しみは食事のようで、「ごはんにするで？」と聞くと、遊んでいてもさっと立ち上がり、イスと水筒を取りに行きます。近くで見るとわかることが出来る食材展示は大好きで、前を通りかかると必ず立ち止まり、きゅうりを見つめたり、ネギをいったり…興味津々です。自分達で皮をむいたグリーンピースや、近所の方から頂いたトマト、畑で「よいしょっ」と抜いてきた大根など、直接食に関わる機会が多い毎日です。そのためか食欲は旺盛で、手づかみや

スプーンを使って勢よく食べています。まだ上手にお口に入らないことも多く、服についたり机の上にたくさんこぼしたりします。そんな時は「一緒にピカピカしよう」と、一粒ずつ口に入れてあげます。すると自分でも大人のマネをして、一生懸命つまんでお口に運んでいます。お皿も服も机もきれいになると「ピカピカ～」とニコッ。おかわりのお皿を差し出します。生活や遊びの中での一つ一つの関わりを大切にしています。

今、虹組では『イヤイヤ！』真っ盛りです。「お着替えしようか」「イヤ！」「ズボンはいてね」「イヤ！」と、何でもかかくイヤが続きます。そんな時は「〇〇ちゃんが決めたいんな。どれにする？」と、しばらくやりとりをしていると、じっと考えて「これ！」と自分で選びます。「そのズボンあったかそうやな～」と言うと、ニコッと満足そうにズボンをはいています。「自分で何でもしたい」その気持ちに、寄り添い受けとめています。何でも大人がしてしまわず、子どもが興味を持って自分でしたいと思えるような環境を整えることが大事だと思います。

お昼寝から目覚めると、よく大きいクラスの子も達が、小さいクラスに、「もうきがえたで～？」と様子を見に来てくれます。担任が「おしっこ行こうか～」と言っても「イヤ！」な子ども達も、ちびっこ先生に誘われると嬉しそうにさっととんでいきます。みんな優しいお兄ちゃんお姉ちゃんが大好きです。異年齢の関わりも素敵ですね。

1年が終わろうとしています。《もうねね》の本を読むと、大人が読んで後に「ねねね」と一人が横になります。すると次々にねねねをして、3人で折り重なって目を閉じています。「大好きな大人やお友だちと一緒にのこをすることを嬉しい」日々です。一人あそびから、3人で近くに寄って遊んでいる姿も多く見るようになってきました。自分で出来る事がだんだん増え、自分から生活に関わっていく喜び。様々な人の中で見守られ、関わり合い、過ごす嬉しさ。これらを通して、“じぶんでいいな”“ひとつでいいな”と感じられるようになってほしいと思います。

ボランティアのため
募集

ボランティア募集

もっとたくさんの人におひさまを知ってもらい、活動を広げていくためにボランティアを募っています。

- ◇ 保育のお手伝い（要保育士資格）
- ◇ 給食のお手伝い（要検便）
- ◇ 園児募集ビラ・ポスター配り
- ◇ おひさま通信の編集
- ◇ 園開放事業スタッフ（受付・準備・広報など）
- ◇ 講演会の企画・運営
- ◇ 事務局のお手伝い（印刷や発送などの作業）
- ◇ ホームページ管理・更新のお手伝い
- ◇ おまつり等で事業活動のお手伝い
- ◇ 畑作業のお手伝い

会員募集 みなさんの力でおひさまの活動を支えてください。

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさまは、みんなで知恵と力を出し合い、共同して子育てに取り組もうと考えました。子育てが楽しくなる、子どもの目が生き生きと輝く活動に取り組めます。行事に参加できる、できないに関わらずおひさまを応援したいという方などご入会をお待ちしております。

◎ 正会員 入会金 なし 年会費 5000円 イベント割引 総会決議権

◎ 賛助会員 入会金 なし 年会費 一口1000円 イベント割引

寄付・債券のお願い

新園舎建設に2165万円の債権を寄せていただきました。2010年度からの債券返済のため引き続き寄付、債券をお受けしております。今後ともよろしくお願いいたします。



会費、寄付、債券振込口座および振込名義
郵便振替口座 01610-2-93045
口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

＊ホームページあります。おひさま <http://npo-ohisama.org/> 保育所 <http://www.kyoho.org/>

みんなで食べるとこんなにおいしい

保育所にはお友達がいて、遊びや給食など、子どもたちの生活があります。
いっぱい遊んで「あーおなかがすいた！」みんなの笑顔と一緒に「いただきます！」
“食べるって楽しい”みんなに届けたい想いです。



「おやつなにかな〜」給食室をのぞきこむ



きょうのきゅうしょくはなにかな？

食材展示

食材展示のケースをいつもの場所に置くと、子どもたちが集まってきます。触ったり、においを確かめたりしながら「これはなに？」と職員にたずね、「何だと思う？」と返すと白菜がキャベツだったり、長ねぎがたまねぎだったり。子どもはこんな風を感じているんだと知ることができ、大人にも驚きや発見があります。さっき見たり触ったりした食材が給食に出てくることで、食材と給食がつながり『ちょっとにがてやけど、たべてみようかな』という気持ちが生まれてくることもあるようです。

食べ物の名前を知ること以上に、土がついているごぼうや白菜、水菜、スライスされていない大きなブロック肉、足のついたするめいかなど、調理される前の食べ物の姿を知ってほしいと思っています。食材は、海や山、畑から来ていること、植物や動物のいのちをいただいて、私達は元気をもらっていることを、食事《給食》の中で伝えていきたいです。



「うわあ！ゆるゆる〜！」



豆まき「おにはきと〜！」

おたのしみの

行事食

2月3日の節分では、地球組（年長）さんが、自分たちで作ったお面をかぶり、オニになって豆まきをしました。

節分やひなまつりなど季節の行事や毎月あるお誕生会には行事食を作り、盛り付けを変えたり、花を添えたりして“いつもとはちょっと違う給食”になるように心がけています。『きょうはなんのきゅうしょくだらう』というわくわく感、子どもたちの表情や気持ちをいきいきさせます。毎日の食事の中で、特別な“いつもと違う日”があり、その日の食事を誰かと一緒におしゃべりしながら食べる経験は、子どもの中に大切なものとして積み重なっていくと思います。

お誕生会の給食では、「いただきます」の前に、みんなに「おめでとう」と声をかけてもらい、とてもうれしそうな子どもたち。単に食べるだけではなく、季節を大切にしながらお友達と一緒に行事の雰囲気を感じてもらいたいと思っています。



ベークドフィッシュボール・さといものみそ田楽



クリスマス会のおやつ



2歳児クラスから

2歳児空組は6名。5名が今年度からの新入園児です。4月当初は、野菜の苦手な子が多く、口に入れることもできない、給食の時間になると泣き出す子もいました。

給食が楽しい時間になるよう「にんじんがピカピカになってる！すごいね」と食べることができたのをほめていきました。「○○ちゃんすごいよなあ？」と大人が周りにも伝えると「○○も！みてー！」と自分も！自分も！とはりきって見せてくれます。すると「お皿がピカピカ〜、一緒やな！」と微笑みあったり「なんの音でしょうか？」友だちの囁む音をきいて、「かっぱのきゅうり！」「びんぼ〜ん！」段々と給食の時間が楽しくなり、おかわりができるのが嬉しくなっていました。

今は会話を楽しみ、大人や仲間と関わって食事ができるようになって食べられる量も少しずつ自分で判断できるようになってきました。食べることができたり食べられなくなったり…進んだり、戻ったりしながらも給食時間が“食べるのが楽しい時間”であることをいつも大切にしたいと思います。

(2歳児担任：栗林 由子)



節分の行事食『おにだご〜』

いっしょに食べる

アレルギー対応食

保育所では、医師の診断書をもとに、卵・牛乳・小麦・大豆の関連する食材で起こるアレルギー対応食を作っています。食べられない食材は、代替食品を使ってコピー食を作ります。アレルギー児の保護者から「同じものでなくても、お弁当ではなく、みんなと給食を食べられることがうれしいんです」と声をいただくこともあります。

食材や調理方法が変わることもありますが、食器の準備やお当番など友だちと協力しながら食事の場面を整え、給食を一緒に食べることが、子どももうれしいのだと感じます。



- 《普通食献立》《アレルギー対応食（写真右）》
- 中華おこわ もちごめ⇒アレルギー対応米 ※胚芽米（家庭より持参）
 - たけのこ⇒除去
 - しゅうまい しゅうまいの皮⇒白菜
 - 冬野菜の酢醤油和え
 - きのことスープ
 - 《おやつ》
 - 華ジャムと 食パン⇒米パン
 - 野菜のサンドイッチ マヨネーズ⇒ アレルギー用マヨネーズ